

<p><b>【技術の名称】</b>                  奥村式コア壁工法                  -鉄筋コンクリート造コア耐震壁工法-</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第10-16号                  性能証明発効日：2010年10月21日</p> <p><b>【取得者】</b>                  株式会社奥村組</p>
---	---

**【技術の概要】**

本技術は、主として建物のコア部分に連層形式で配置されるI形、L形およびそれらを組合せた断面形状を有する鉄筋コンクリート造コア耐震壁を構築する工法である。本工法では、壁断面の先端部および壁断面同士の交差部に、壁厚さと同厚の柱部を設け、主筋および閉鎖型外周筋と中子筋併用の横補強筋を配置することになっている。これらの断面形状、配筋詳細を満足する場合、設計で要求される終局耐力、変形性能などの構造性能を確保できる。

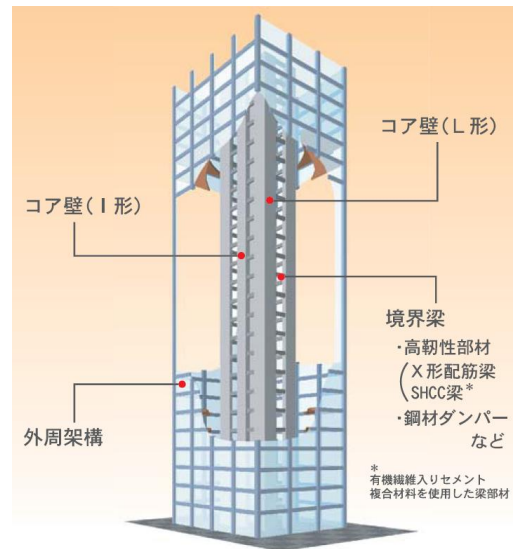
**【技術開発の趣旨】**

本工法は、建物の主な耐震抵抗要素となる鉄筋コンクリート造コア耐震壁について、断面形状および配筋詳細を規定することによって、設計で要求される構造性能を保証することを意図して開発されている。

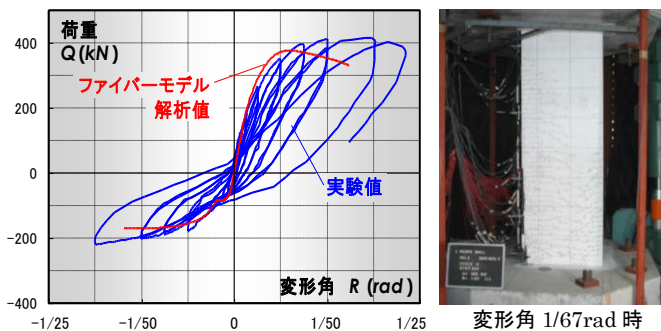
**【性能証明の内容】**

申込者提案工法による鉄筋コンクリート造コア耐震壁は、長期荷重時に使用上支障を来たすひび割れおよび

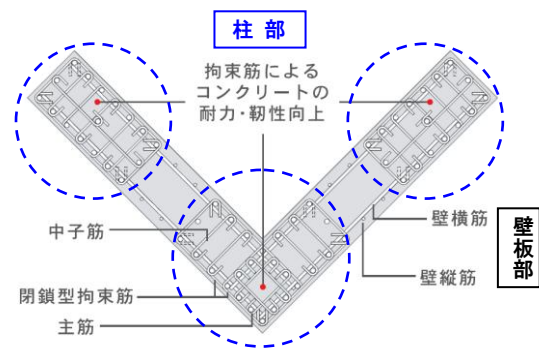
短期荷重時に修復性を損なうひび割れを起こさず、設計指針で定める終局耐力および変形性能を有すると判断される。



コア壁の適用架構イメージ



構造実験試験体の荷重-変形角関係



コア壁の断面詳細 (L形)

**【主な適用範囲】**

- コア壁の形状：I形、L形、およびそれらの組合せと見なせる形状 (T・コ・H形など)
- 厚さ：300mm以上
- 長さ：I形=壁厚の3倍以上8倍以下、L形=壁厚の3倍以上5倍以下 (一辺)
- コンクリート強度：Fc24~Fc60 (N/mm<sup>2</sup>)
- 鉄筋の種類：主筋 SD345~SD390、拘束筋 SD295~785N/mm<sup>2</sup>級、壁筋 SD295~SD390
- コア壁の軸力比：I形=0.2以下、L形=0.4以下

**【本技術の問合せ先】**

株式会社奥村組 技術研究所 担当者：上 寛樹  
 〒300-2612 茨城県つくば市大砂 387

E-mail：hiroki.ue@okumuragumi.jp

TEL：029-865-1813 FAX：029-865-1522